

観光ポイント

1 白杵市観光交流プラザ (C-2)



「観光客が最初に立ち寄る場、市民も集う中心市街地のにぎわいの場」を基本コンセプトに定め、白杵をより詳しく知るための設備が充実しています。

2 白杵城跡 (D-2)



戦国時代、九州6カ国を治めたキリシタン大名・大友宗麟が、弘治2年(1556年)頃、四方を海に囲まれ天然の要塞であった丹生島に丹生島城(白杵城)を築きました。春になると「白杵城址桜まつり」が開催され、多くの人々でにぎわいます。

3 国登録文化財 稲葉家下屋敷 旧平井家住宅 (B-2)



鹿藩置県に伴って東京に移住した旧藩主・稲葉家の里帰り用の屋敷として明治35(1902)年に建設されました。式台玄関・書院造りなど、江戸時代末期の上級武家屋敷の建築様式を色濃くとどめています。

4 野上弥生子文学記念館 (B-2)



99歳まで執筆を続けた野上弥生子の生家です。直筆原稿や遺品約200点を展示しています。

5 久家の大蔵 (B-2)



造り酒屋の「久家本店」が使用していた江戸時代後期の酒蔵で、現在は改修して南蛮文化交流施設となりました。壁面にはボルトガルの伝統装飾タイル「アズレージョ」が飾られています。

6 八町大路(中央通り商店街) (B-3)



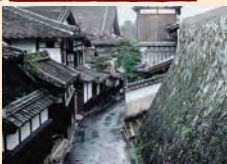
安土桃山時代から現代まで続く歴史ある商店街です。

7 サーラ・デ・うすき (C-3)



気楽に集い語りあえる空間、白杵の旬の情報の発信、屋外イベント開催などさまざまな楽しい場をご提供しています。

8 二王座歴史の道 (C-3)



二王座は、阿蘇山の火山灰が固まってできた凝灰岩の丘で、あちこちの岩を削り取って道を通しました。石畳の道に武家屋敷や寺院が建ち並び、城下町特有の面影をのこしています。

9 旧真光寺 (B-3)



廃寺を改修し、町並み散策の無料休憩所や市民ギャラリーとして開放しています。2階からは二王座歴史の道が一望できます。

10 県指定有形文化財 三重塔(龍原寺) (B-3)



太子塔とも呼ばれ、聖徳太子を祀る塔です。九州に2つしかない江戸期の木造三重塔の1つとして知られています。

11 白杵市歴史資料館 (A-3)



「祈りの歴史と文化」をテーマに縄文～江戸時代の資料を展示しています。その他、市の歴史文化に関する企画展を行います。

12 市指定有形文化財 旧板井家住宅 吉丸一昌記念館 (A-4)



「早春賦」の作者である吉丸一昌。妻ユキの実家を記念館として開放し、遺品や楽譜などのゆかりの品を展示しています。

13 市指定有形文化財 旧丸毛家住宅 (D-3)



白杵藩の上級武士の屋敷。接客、体面を重んじた武家の格式を知ることのできる建物です。



白杵みる記



観光ガイドのお問合せ先 (要事前予約)	
うすきタウン ツーリズム 研究会	【申込み先】TEL:0972-62-8138/携帯:080-3184-5561 FAX:0972-62-8138 【案内地域】白杵市下町観光ガイド/白杵城址ガイド/ 古地図で町並みガイド 【料金】有料
うすき町並み ガイドの会 会長 石崎 達雄	【申込み先】TEL:0972-63-7898/FAX:0972-63-7898 【案内地域】町並み散策エリア/二王座歴史の道/ 白杵城跡等 【料金】有料
白杵石仏 ボランティア ガイドの会	【申込み先】白杵石仏事務所 TEL:0972-65-3300 【案内地域】白杵石仏 【料金】無料

